

各部の名称および説明

**サンプルライン
コネクタ**

主電源ランプ

電源コードをコンセントに
接続時点灯

タッチスクリーン

変更したい箇所をタッチし、
コントロールホイールで調整、
およびメニューの選択や
ガイド画面の参照等に使用

液体トラップボトル

サンプルガスの水分を貯留

**インジェクターモジュール
ケーブルコネクタ**

インジェクターモジュールが
読み取った吸気流量の入力端子

**NO チューブ
コネクタ**

流量調整された
アイノフローの出口

コントロールホイール

NO 投与濃度、
アラーム値設定等

バックアップ切替スイッチ

故障時等の緊急用：右に倒すと
250ml/分のアイノフローを定量投与

アイノフロー DS
本体

パージポート

低圧ホースのパージ
時にここへ差し込む

**低圧ホース
クイックコネクタ**

アイノフローポンペと接続

**低圧ホース
クイックコネクタ**

アイノブレンダー用

IR コネクタ

カートに接続し
ポンペと赤外線
通信する

**フィルター
カートリッジ**

サンプルガスの
水分や異物を除去

サンプルガス出口

電源コード接続口

オン/スタンバイ切替スイッチ

NO/O₂ 出口ポート

蘇生バッグを接続

コントロールホイール

NO 投与濃度を調整

酸素流量調整

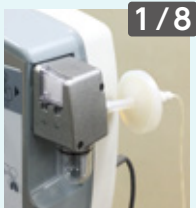


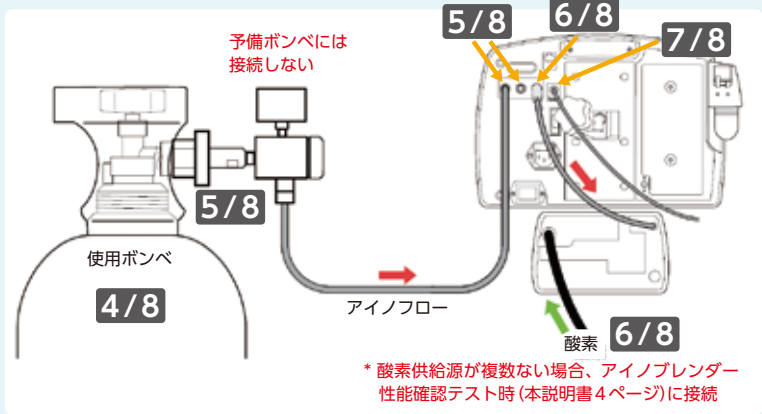


アイノブレンダー

酸素供給口

低圧ホース

本体へ接続

使用前点検

ステップ	手順	接続 / 確認 / 注意	ポンベ / 圧力ゲージ	酸素流量計
酸素流量計と酸素供給源の接続 電源 ON → 低レンジ較正自動スタート				
初期接続				
	以下の接続・設置・点灯を確認			
1/8	<ul style="list-style-type: none"> 液体トラップボトル フィルターカートリッジ サンプルライン 次へ 			
2/8	<ul style="list-style-type: none"> インジェクターモジュール⇔DS本体 次へ 			
3/8	<ul style="list-style-type: none"> AC電源接続 (主電源ランプ点灯確認) 次へ 			
4/8	<ul style="list-style-type: none"> ポンベ2本の設置および使用期限確認 次へ 			
5/8	<ul style="list-style-type: none"> 高圧ゲージ付減圧弁を使う方のポンベに、低圧ホースを本体背面に接続 次へ 			
6/8	<ul style="list-style-type: none"> アイノブレンダーの接続 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 低圧ホース⇔DS本体 ▶ 酸素供給用ホース⇔酸素供給源 次へ 			
7/8	<ul style="list-style-type: none"> IRケーブルをDS本体に接続 次へ 			
8/8	<ul style="list-style-type: none"> 初期接続完了 次へ 			
自動ページ				
1/6	<ul style="list-style-type: none"> 使用ポンベと本体の接続確認 次へ 	使用するポンベのみ接続のこと。		
2/6	<ul style="list-style-type: none"> ポンベを一旦全開にして閉める 次へ 			
3/6	<ul style="list-style-type: none"> 圧力ゲージ確認 次へ 	残圧 > 500psi、針が 30 秒間動かないこと。		
4/6	<ul style="list-style-type: none"> 次へ を押してページ開始 	インジェクターモジュールが呼吸回路内にないこと。		
5/6	<ul style="list-style-type: none"> 自動ページ中 	「ポンベ残圧低下」アラームの発報を確認。		
6/6	<ul style="list-style-type: none"> ページ完了後、ポンベを全開にする 次へ 			

使用前点検

ステップ	手順	接続 / 確認 / 注意	ポンベ / 圧力ゲージ	酸素流量計																		
バックアップ投与機能確認テスト																						
1 / 4	<ul style="list-style-type: none"> 使用前点検回路の組み立て 酸素流量計を 10L/分に設定 次へ 	<p>詳細は 図を表示 を押して表示される回路図を参照</p>  <p>バックアップ ON アラーム発報を確認</p>																				
2 / 4	<ul style="list-style-type: none"> バックアップモードをオンにする 次へ 	<p>NO₂ : <1.0ppm、NO : 14 ~ 26ppm</p>																				
3 / 4	<ul style="list-style-type: none"> 値が安定したらモニター値を確認する 次へ 	 <table border="1" data-bbox="1016 794 1545 903"> <thead> <tr> <th colspan="6">吸気流量に基づく推定濃度</th> </tr> <tr> <th>流量 L/min</th> <th>5</th> <th>7.5</th> <th>10</th> <th>15</th> <th>20</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>NO ppm</td> <td>40</td> <td>27</td> <td>20</td> <td>13</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			吸気流量に基づく推定濃度						流量 L/min	5	7.5	10	15	20	NO ppm	40	27	20	13	10
吸気流量に基づく推定濃度																						
流量 L/min	5	7.5	10	15	20																	
NO ppm	40	27	20	13	10																	
4 / 4	<ul style="list-style-type: none"> バックアップ投与機能確認テスト完了 バックアップモードをオフにする 次へ 																					
投与性能確認テスト																						
1 / 4	<ul style="list-style-type: none"> 酸素流量計の設定(10L/分)を確認 次へ 																					
2 / 4	<ul style="list-style-type: none"> 次へ を押すと、濃度が自動的に40ppmに設定される 	<p>NO モニター値が上昇する</p>																				
3 / 4	<ul style="list-style-type: none"> 値が安定したらモニター値を確認する 次へ を押すと、濃度が自動的に0ppmに設定される 	<p>O₂ : 92 ~ 98%、NO₂ : <1.5ppm、NO : 35 ~ 45ppm</p> <p>* モニタリング値が範囲外になった場合は、取扱説明書第4章に記載のアラームヘルプを参照</p>																				
4 / 4	<ul style="list-style-type: none"> 投与性能確認テスト完了 次へ 	<p>NO モニター値が低下する</p>																				

使用前点検

ステップ	手順	接続 / 確認 / 注意	ポンベ / 圧力ゲージ	酸素流量計
アイノブレンダー性能確認テスト				
1/5	<ul style="list-style-type: none"> ● カートの酸素流量計をオフ(0L/分)にする ● 酸素チューブをカートの酸素流量計から外す ● アイノブレンダー正面に接続する 次へ 	<p>* アイノブレンダー背面の酸素ホースが酸素供給源に接続されていることを確認</p>		
2/5	<ul style="list-style-type: none"> ● 回路からインジェクターモジュールを外し、回路を再接続する 次へ 			
3/5	<ul style="list-style-type: none"> ● アイノブレンダー正面パネルを操作して、投与濃度 40ppm、酸素流量 10L/分に設定する * カートの酸素流量計は操作しない 			
4/5	<ul style="list-style-type: none"> ● 値が安定したらモニター値を確認する 次へ 			NO : 32 ~ 48ppm
5/5	<ul style="list-style-type: none"> ● アイノブレンダー正面パネルを操作して、投与濃度と酸素流量設定をすべてゼロに戻す ● 回路をすべて取り外す 次へ 			

使用前点検終了

投与開始準備(使用前点検終了後)

手順	接続 / 確認 / 注意	ポンベ / 圧力ゲージ	酸素流量計
<p>10分以内に投与開始する場合</p> <ol style="list-style-type: none"> ① インジェクターモジュールを呼吸器回路に組み込む ② サンプルT字管を呼吸器回路に組み込む ③ 投与濃度を設定する 	<p>NO濃度設定方法</p> 	 <p>全開</p>	 <p>0 L/分</p>
<p>10分以内に投与開始しない場合</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ポンベを閉じる ② 低圧ホースを外す (→ 部分を一度本体側に押し込んでから外す) ③ 低圧ホースをパージする ④ 低圧ホースを本体に再接続する ⑤ インジェクターモジュールを呼吸器回路に組み込む ⑥ サンプルT字管を呼吸器回路に組み込む <ul style="list-style-type: none"> ● 24時間以内に投与開始時 <ol style="list-style-type: none"> 1. ポンベを全開にする 2. 投与濃度を設定する ● 24時間以降に投与開始時 <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用前点検に戻る 		 <p>閉</p> <p>閉</p>  <p>6-1 全開</p>	 <p>0 L/分</p>

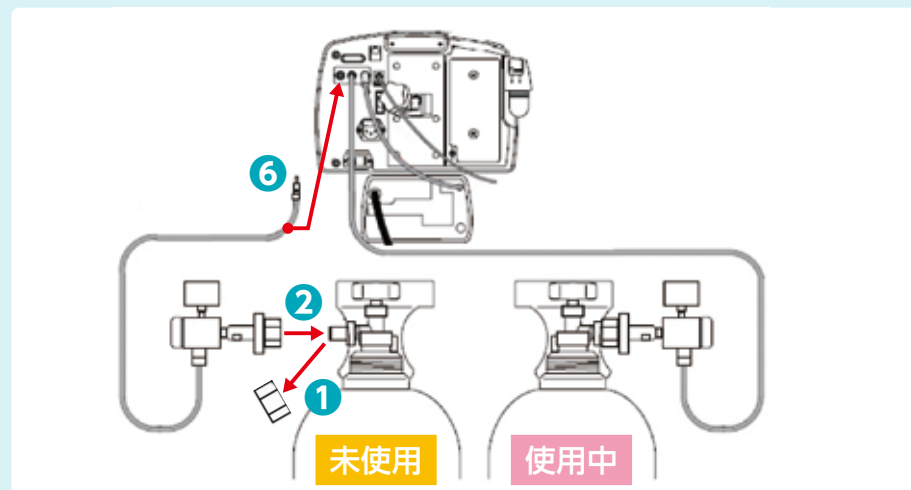
投与中の注意事項

投与濃度を変更したとき	アラームリミット設定方法	自動低レンジ較正	低レンジ較正中の画面
<p>NOアラームのリミットを再設定する (自動設定されるのは初回濃度設定時のみのため)</p>	 <p>選択 → 変更 → 確定</p>	<p>自動低レンジ較正実行頻度</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 濃度設定後 3、6、12 時間経過時 ● 上記以降 12 時間毎 ● 非投与時 (設定濃度ゼロ) 24 時間毎 	 <p>較正中 (約 3 分) は、室内空気のモニタリング値が表示される (故障ではありません)</p>
主なアラーム	アラーム解消方法	主なアラーム	アラーム解消方法
高 NO 濃度 / 低 NO 濃度	<ul style="list-style-type: none"> ● 上記に準じて NO アラーム設定を変更する ● 回路の接続を確認する ● NO センサーを較正する ● インジェクターモジュールを交換する 	投与中止	<ul style="list-style-type: none"> ● バックアップによる投与に切り替える ● ボンベを交換する
高 NO ₂ 濃度	<ul style="list-style-type: none"> ● パージが完了していることを確認する ● 上記に準じて NO₂ アラーム設定を変更する ● 回路の接続を確認する ● NO₂ センサーを較正する 	使用期限切れボンベ	<ul style="list-style-type: none"> ● ボンベを交換する
高 O ₂ 濃度 / 低 O ₂ 濃度	<ul style="list-style-type: none"> ● 上記に準じて O₂ アラーム設定を変更する ● 回路の接続を確認する ● 人工呼吸器の酸素設定濃度を確認する ● O₂ センサーを較正する 	インジェクターモジュール不良	<ul style="list-style-type: none"> ● ケーブルの接続を確認する ● ケーブルを交換する ● インジェクターモジュールを交換する
ボンベ認識不能	<ul style="list-style-type: none"> ● 赤外線ケーブルの接続を確認する ● カートとボンベ間の障害物を取り除く ● ボンベを交換する 	バッテリー残量低下	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源ケーブルをコンセントに接続する ● 電源ケーブルと本体の接続を確認する
ボンベバルブ閉鎖中	<ul style="list-style-type: none"> ● ボンベのバルブを全開にする ● カートとボンベ間の障害物を取り除く ● ボンベを交換する 	ボンベ残圧低下	<ul style="list-style-type: none"> ● ボンベのバルブを全開にする ● ボンベを交換する
投与失敗	<ul style="list-style-type: none"> ● バックアップによる投与に切り替える ● 電源を切って再度立ち上げる 	要点検 (Service Required)	<ul style="list-style-type: none"> ● バックアップによる投与に切り替える ● 弊社にご連絡ください
		サンプルライン / フィルター不良	<p>サンプルライン↑ またはフィルターカートリッジ↓を交換する</p> 
		液体トラップボトル満水	<p>液体トラップボトル→に溜まった水を廃棄する</p> 

詳細は取扱説明書をご参照ください。

ポンベの切替 (手順を守ってポンベを切り替えてください)

圧力ゲージの針がレッドゾーンに近づいたとき (<200psi)



未使用ポンベの操作

- ① 未使用ポンベのナットを外す
- ② 減圧弁を取り付ける
- ③ ポンベを全開にし、すぐに閉じる
- ④ 残圧 > 500psi を確認する (通常約 2000psi)
針が 30 秒間動かないことを確認する
- ⑤ 低圧ホースをパージする
- ⑥ 低圧ホースをDS本体に接続する
- ⑦ ポンベを全開にする
「ポンベ 2 本開放中」の
アラームが発報する

使用中ポンベの操作

- ⑧ 使用中のポンベを閉じる
- ⑨ 低圧ホースを外す
- ⑩ 低圧ホースをパージする
- ⑪ 減圧弁を外す
- ⑫ 減圧弁をカートに収納する
- ⑬ 使用済ポンベのナットを閉める
- ⑭ 使用済みポンベをカートから下ろす
- ⑮ 新しい未使用ポンベをカートに固定する

投与終了時片付け (ポンベはしっかりと閉めてください)

投与濃度をゼロに設定後の手順

- ① ポンベを閉じる
- ② 低圧ホースを外す
- ③ 低圧ホースをパージする
- ④ 液体トラップボトルを清掃する
- ⑤ フィルターカートリッジを新品に交換する

再使用品

- インジェクターモジュール
 - ▶ オートクレーブ滅菌 または
 - ▶ アルコール消毒



- インジェクターモジュールケーブル
 - ▶ 清掃



- 液体トラップボトル
 - ▶ 清掃



廃棄品

- チューブ類
- コネクタ類
- フィルターカートリッジ

使用者による保守点検スケジュール

臨床使用前	臨床使用中 毎日	臨床使用後	毎月
<ul style="list-style-type: none"> ● 使用前点検の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● アイノフローボンベの残圧確認 ● 液体トラップボトルの水を廃棄 	<ul style="list-style-type: none"> ● インジェクターモジュール滅菌 ● 液体トラップボトルの清掃 ● 単回使用品の交換 ● 電源コードのコンセント差し込みによる常時充電 	<ul style="list-style-type: none"> ● NO、NO₂、O₂ 各センサーの低レンジ較正および高レンジ較正 ● 高圧ガス漏れテスト

緊急連絡先

昼間

夜間休日等

● 選任外国製造医療機器等製造販売業者

 **エアウォーター株式会社**
埼玉県川越市南台一丁目5番地1

● 外国製造医療機器等特例承認取得者

 **Mallinckrodt Pharmaceuticals**
マリンクロット マニファクチュアリング エルエルシー

詳細は取扱説明書をご参照ください。